



### 富士の麓で「わが街の誇り」を考える



Associate Prof. Naoto Nakajima  
 D1 Takahiro MIYASHITA  
 Keio Univ. M2 Kenta ASAKA  
 B4 Kento YAMAMOTO  
 B4 Daiki TSUNODA  
 B4 Kanako YABUKI  
 B3 Jun MINO

### 「御師まち」の文化とは何か？

富士吉田PJは2011年、中島准教授の前任地である慶應義塾大学SFCにおいて発足し、富士山信仰の中心的役割を果たしてきた富士吉田市の「御師まち」を中心とするエリアの活性化に向けて、市の協力を得ながら地域資源の調査と将来における整備構想の立案に取り組んできた。

この街にはかつて富士講信者が登山を前に身を清め宿泊するための「御師の家」が数多く建ち並び、現存する「旧外川家住宅」は世界遺産の構成資産に選ばれている。しかし市民の間で御師まちの歴史・文化資源の認知度は高くないため、御師まちの魅力を生かして、それを成熟させて市民の誇りに繋げたいと考えている。



富士みちと金鳥居



旧外川家住宅

### これから

実際に進行中の都市計画事業との連携

- 浅間神社前の国道拡幅に伴う面的整備について、地元との勉強会の企画・運営を通じた議論の構築に取り組む
- 再建が進められている浅間坊の活用方針検討

立案した整備構想のブラッシュアップとプロセスデザイン

- 描いた将来像に至る過程における「仮設的まちづくり」の実践

### 富士吉田PJの1年



#### フィールドワーク

歴まち法適用の検討

#### 「まちのデザインを考える」ワークショップ

ポスター作成

模型製作

#### 魅力ある街のデザイン展 & シンポジウム

#### 国道拡幅に関するヒアリング

整備構想立案

成果報告書執筆

### フィールドワーク

2015年度最初のFWでは御師まちの現況をより詳細に把握するため、連続立面写真の撮影や各敷地の空間構成・植樹・用水・オープンスペースの調査などを行った。



富士吉田PJのOBであり現地に移住してビジネスを興している赤松智志君が新たにオープンさせる hostel「SARUYA」を視察。



### 街の魅力発信と共有

9月に「まちのデザインを考えるワークショップ」を開催して、地域住民の方々と街の歴史・文化資源や現状の課題について意見交換を行い、それを踏まえて11月の「魅力ある街のデザイン展 & シンポジウム」では研究の成果発表と街の将来像についての提案を行った。

#### 「まちのデザインを考える」WS

地元の方々46名とポストイットトークを通して、「街の誇りとは何か」「どんな街になってほしいか」を議論した。



#### デザイン展 & シンポジウム

5年間の研究成果を発表するとともに、地域の方々に特に重要だと考えた4つのコアについての整備構想を模型を使って説明し、議論を行った。



### 整備構想の立案

御師まちの活性化のためには富士みち沿いの歴史・文化資源を活かした4つのコアを設定し、個性の異なるコア同士のつながりを強化していくことが有効であると考えた。

#### 整備構想の3つの方針

- ①何かを新たに付け加えるのではなく、既存資源を活かし磨く
- ②街に開き、たがいにつながる場所を生み出していく
- ③整備して終わりではなく、その後の利用・運営に重きをおく

